

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国立保健医療科学院施設整備費			担当部局庁	国立保健医療科学院		作成責任者				
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	平成29年度	担当課室	総務部会計課		川又 功				
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する計画、 通知等							
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	国立保健医療科学院の設備の改修を行い、研究及び研修環境を整えることにより、国立保健医療科学院の効率的な運営に資することを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	老朽化のため、以下の設備について改修工事を行う ・本館及び別館の空調、電気等を制御する中央監視システムの改修工事 ・業務に必須の設備である電話交換機の改修工事 ・業務に必須の設備である照明制御盤の改修工事 ・研究・研修環境を整えるために必要な冷却塔三方弁の改修工事										
実施方法	直接実施										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算 の状 況	当初予算	-	-	-	-	133				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		0	0	0	0	133				
	執行額		0	0	0						
執行率 (%)		-	-	-							
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	科学院が毎年行っている 研究課題評価で3.5点以上 を目標とする。		研究課題評価の総合点		成果実績	点	-	-	-	-	-
					目標値	点	-	-	-	-	3.5
					達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	改修工事完了件数				活動実績	件	-	-	-	-	
					当初見込み	件	-	-	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X:執行額 /Y:改修工事完了件数				単位当たり コスト	円	-	-	-	-	
					計算式	X/Y	-	-	-	-	
平成28・29 年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	施設整備費		-	126	29年度新規事業						
	施設施工庁費		-	6							
	施設施工旅費		-	1							
計		0	133								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること											
	施策	国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること(施策目標X I -1-1)											
	測定指標	定量的指標					単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 30年度	目標年度 31年度	
		国立保健医療科学院における研究課題評価(毎年度実施) ※総合評点は5点満点で、3点で「良好」の評価	実績値	点	4.1	4	4.2	-	-				
			目標値	平均3.5点以上	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	国立保健医療科学院の適正かつ効果的な運営を確保するため、老朽化した設備を計画的に更新していくことが必要である。												
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-			
目標値			-	-	-	-	-	-	-				
達成度			%	-	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国立保健医療科学院の研究及び研修を行うために必要な設備を改修する事業であり、国費を投入する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国立保健医療科学院の設備の改修工事にかかる経費のため、他に委ねることは出来ない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国立保健医療科学院の適正かつ効果的な運営を確保するため必要かつ適切な事業であり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
	-	-	-		
	-	-	-		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシート of 事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国立保健医療科学院
133百万円

〔 国立保健医療科学院施設整備費 〕



A.改修工事経費
133百万円

〔 工事費等 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

